びっくり!! 船の過去☆現在☆未来新聞

～いつの時代も船はある～

昨年、父の設計した電気推進船について、新聞の記事にしましたが、もう少しくわしく知りたいと思い、取材しました。すると、船の過去や未来も知りたくなりました・・・・

桜島丸について

- そうトン数 1,330トン
- 全長 57.36m
- はば 13.50m
- ふかさ 4.50m
- こう海速力 11.0ノット

かご島・桜島(電気推進船!!)
桜島丸にじょう船してしゅざいしました。

現在の船

こんなに広いスペース

とくちょう

- かんきょうにやさしい
- けいざいてき
- バリアフリー

さくら島丸のはたらき

- さつま半島と大すみ半島をむすぶ大切なふね
- 通学やしごとなど、生活に利用されている。
- エレベーター、自どうドア、じゅうにゅう室、車いすスペースがある。

船員のすず木さんにインタビュー

プロペラは、前はあまりつかわないけれど後ろはっかうときゅうにとまるときにとても役に立つ。ゆしんが少ない。エンジンがしずか。

せつめいしてもらいました

広島 倉橋島

私たちが住んでいる江田島市のとなりの島「倉橋島」は、古くから、主要な航路として栄え、そのため、造船技術も発達していて、遣唐使船などの建造も行なわれてきました。

長門の造船歴史館へ取材へ行って来ました

- 遣唐使船は2本のマストに網代帆(あしろほ)という竹林の帆を張った帆船です。1隻に170人程が乗船していました。船は朱色にぬられていて、とてもあざやかでした。

大きさ
長さ…25m
幅…7m
帆柱までの高さ…17m

全国でここにしかない!!
復元遣唐使!!

過去の船

大きさにビックリ!!色がきれい!!

いわさきスクープ!! 未来の船はこんな船!!

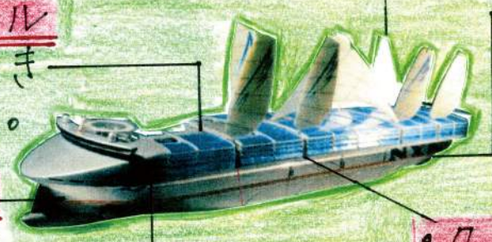
ISHIN-I(商船三井)

太陽光発電パネルをそうびした次世代自動車船

- **太陽光発電パネル**
  デッキ一面の太陽電池で航行中も電力を確保。
- **風に強いフォルム**
  船首方向の風圧や横風の影響を軽くするデザイン。
- **新フォルムの船尾**
  船尾の空気の流れを整える涙滴型。
- **ナビシステム**
  最適な航路をナビ
- **水面下の設計改良**
  燃費のよい船体デザイン
- **効率的な機関**
  燃料消費を減らす。
- **ウォーター・トラッピング**
  船体と水とのまさつを減らす。

スーパーエコシップ2030(日本郵船)

全長343m!風力と太陽光を利用した近未来の船!



- **風力発電用の帆**
  出し入れや角度の調整が自動でできる。
- **太陽光発電パネル**
  シート状のまき取り式パネル。
- **二重反転プロペラ**
  逆回転する2枚のプロペラで推進力をアップ
- **多目的プロペラ**
  水のまさつを減らす動きをする。
- **クレーンを装備**
  荷役のとき船のバランスをとる
- **快適な居住空間**
  乗組員の健康に配りょし、安全な運航をはかる

編集後記

過去現在未来の船を調べて、過去の船から色々な事が進化して、現在の船がある事を知りました。私も未来の船を見て乗ってみたいです。父の作った船に乗れて、うれしかったです。

岩崎癒音

かこ、げんざい、み来のふねのことがわかりました。さくら島エンジェルのせんちょうさんにしゅざいをして、ふねをうごかすしくみを知りました。

岩崎 咲

参考資料・海と船の情報ファイル

発行日 二〇一四・十月二九日
発行者 岩崎癒音 岩崎咲